

2026年度 第1回サンマ中短期漁況予報（抜粋）

令和 8 年 9 月 11 日
福島県水産海洋研究センター

一般社団法人 漁業情報サービスセンターより、9月9日に「2026年度第1回サンマ中短期漁況予報」が発表されましたので、概要をお知らせします。

1. 今後の見通し

予測期間：2026年9月中旬～10月下旬

対象海域：道東海域、三陸海域 ※常磐海域の予報は第3回（9月29日発表予定）から

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

（1）来遊量

道東海域

9月中旬～10月上旬は、小型魚主体の断続的な来遊がある。10月中旬から1歳魚の来遊量が増加するため、低位水準で増加する。

三陸海域

10月下旬から低位水準ではあるが、来遊する。

（2）漁場

道東海域

落石～襟裳岬沖。主漁場は道東より東側の公海。

三陸海域

10月下旬から三陸北部へ来遊。

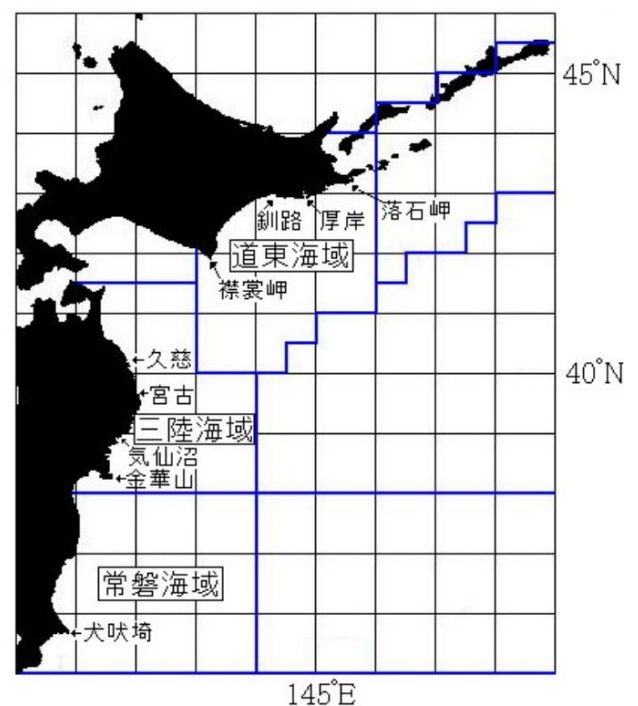


図1 海域の名称

2. 漁況経過概要（8月下旬）

（1）来遊量

道東海域では前年度を下回り、低位水準。

（2）漁場

主漁場は道東海域より東北東側の公海。漁獲量は平均3.7トン、大型船で最高17トン。

道東海域では落石沖～襟裳岬沖に断続的に形成。

（3）魚体

道東海域では小型魚が主体。

道東海域より東北東側の公海では体長27～31cm、体重80～140g台が主体。

魚体は前年より小さい。

※詳細については下記のHPをご参照下さい。

一般社団法人 漁業情報サービスセンター プレスリリース

<https://www.jafic.or.jp/information/2026/09/09/post-5/>